



学生と教職員が協働する学内防災2019

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 康人 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/00016707

【布担架の使い方】

- ・布担架の取り扱い説明書の参考資料としてご一読ください。
- ・本資料は、2019 年 11 月 6 日に高等教育推進機構で行われた全学一斉防災避難訓練（個別避難訓練）時の写真を元に作成しました。

避難手順： 	○周辺を見渡し、サポートできる人を探し、応援を依頼しましょう。
	○移動をする時は、当事者に「移動します。」等の声掛けをしながら介助します。 ○車いすを停止する時は、必ずブレーキをかけてください。
	○安全な場所で車いすから布担架へ移乗します。 ○可能であれば車いすの前方の直線上に布担架を引きます。 （車いすに布担架を引く方法もあります）
	○介助者が 2 名で、当事者の両側に立ち、当事者の脇から介助者それぞれの腕を当事者の背中と膝下に回します。 ○お互い声を掛け合い、タイミングを合わせて、当事者を持ち上げ、布担架へ移動します。



- 布担架のお尻パッドに当事者のお尻が位置するよう座らせます。
- その後、当事者の頭部を後ろから支え、ゆっくりと仰臥位（あおむけ）をとるよう介助します。



- 当事者が布担架の左右中央に位置しているか確認します。
- 当事者の両腕を前方でクロスさせ、胴体部分の安全ベルトで固定します。



- 側方の2名の介助者は、ショルダーベルトをたすき掛けに掛けます。（頭部側を肩に、脚部側を脇に）

* 右側の介助者のショルダーパッドは裏表逆です。（パッドが下、ベルトが上）



○各部持ち手（青）は手首まで通して握ります。

○脚部の持ち手は介助者でクロスさせます。

*脚部固定の危険性もあるので、今回はクロスしませんでした。

→詳しくは布担架の取り扱い説明書参照。



○頭部側の介助者は、当事者の姿勢を確認しながら、当事者の頭部の角度を持ち手の引き具合で調整する。

○階段の下りについては、頭部介助者が後方になります。

当事者の頭が上、足が下の状態で下ります。

○避難経路の安全を確認しながら、声を掛け合って、ゆっくりと確実に進みます。



○安全な場所で布担架から車いすへ当事者を移乗させます。

○移乗先の車いすには必ずブレーキをかけてください。

○当事者の頭部を支えながら布担架上に座させます。

○当事者の脇から介助者それぞれの腕を当事者の背中と膝下に回し、持ち上げます。



○介助者は当事者にとって良い姿勢を確認し、足をフットレストにおいてください。



○避難経路の安全を確認しながら、速やかに避難場所へ誘導をしてください。前方から向かってくる人達に、「車いすの方が通ります。」という声かけを行いながら、安全確保をします。

監修 高等教育推進機構 准教授 吉井泉
記録協力 学生課アクセスセンター